

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	千葉市立新病院(仮)	階数	地上5F
建設地	千葉県千葉市美浜区若葉3丁目1番	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、建築基準法22条	平均居住人員	2,100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	学校,集会所,病院,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2023年7月7日
敷地面積	34,992 m ²	作成者	(株)日建設
建築面積	8,778 m ²	確認日	2023年7月7日
延床面積	33,356 m ²	確認者	(株)日建設



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 ・医療施設として、特に空気環境の向上を計った。 ・省エネルギー化を目的に、外皮の断熱性能の向上を計った。 ・建物は免震構造として、耐震性、信頼性を向上させた。		その他 ・バリアフリー化を徹底し、段差のない建物とした。
Q1 室内環境 ・化学汚染物質の発生を極力抑えた材料の選定し、換気に留意した。 ・空調は方位を考慮したゾーニングを行い、更に冷暖フリーなシステムとした。	Q2 サービス性能 ・内外装材は、維持・管理が容易なものとした。 ・免震構造として、大地震後も機能維持できる、信頼性の高い建物とした。	Q3 室外環境(敷地内) ・敷地内の歩行者空間へ風を導くことができる建物形状とした。 ・敷地内には十分な空地を設けて緑化を施すなど、暑熱環境の緩和を計った。
LR1 エネルギー ・中庭を設けて自然採光、自然通風に配慮した。 ・エネルギー消費がモニタリングできるシステムを採用した。	LR2 資源・マテリアル ・節水型の衛生器具を採用した。 ・指定化学物質の含有が無い材料を多く選定した。	LR3 敷地外環境 ・駐車場、駐輪場を十分に整備した。 ・ごみの分別を十分にを行い、敷地内にストックできるスペースを確保した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される